



小・中学校『めざす授業の姿』

～「学び合い、高め合いのある授業」をめざして～

【授業づくり】

◆児童生徒の姿◆

◆教師の姿◆

10の視点

A

課題意識をもち
意欲的・主体的に学ぶ授業

- 1 本時のねらいや課題をはっきりとつかみ、見通しをもって学習している。
- 2 自分の課題にそって、学習活動に取り組んでいる。
・読む ・書く ・計算する ・描く
・運動する ・歌う ・創作する等
- 3 よりよい方法や身に付けた新しい知識・技能をふり返り、学習のまとめを行っている。

- 1 本時のねらいをわかりやすく示し子どもたちと共有している。
既習事項と本時の学習をつなぐ発問の工夫や具体物等の提示をしている。
- 2 本時の学習内容にかかわる子どもの実態に応じた支援をしている。
- 3 ねらいに対して一人一人の達成度や成就感を評価する具体的な手立てをもち、次時につなげている。(指導に生かす学習評価)

- 【視点①】
- 【視点②】
- 【視点③】
- 【視点④】
- 【視点⑦】
- 【視点⑧】
- 【視点⑨】

B

知識・技能の「習得」と
「活用」を意図する授業

- 1 既習の知識・技能、各教科に関する用語を活用しながら書いてまとめたり、説明したり、討論したりしている。
- 2 インタビューや本・資料等で集めた情報を整理・分析し、自分の考えを深めている。
- 3 ペアあるいはグループ、全体での話し合い活動等で自分の思いや考えを伝え合っている。

- 1 既習の知識・技能の活用を意図した学習活動を設定している。
(習得と活用のバランス)
- 2 子どもが学習を深めることのできる資料等を精選・準備している。
- 3 自分の思いや考えを伝え合う場面を具体的な意図をもって設定し、その意図を子どもに伝えている。
・多く出し合う ・付け加える
・比べる ・分類する
・よりよい方法を見つける

★思考を促す発問を準備している

- 【視点①】
- 【視点②】
- 【視点③】
- 【視点④】
- 【視点⑤】
- 【視点⑥】

【学習集団づくり】

◆児童生徒の姿◆

◆教師の姿◆

10の視点

C

学び合い、
認め合う学習集団

- 1 相手を尊重し様々な考えを認め合っている。
- 2 学級における学習の約束が定着している。

- 1 子どもの意見を受容し、個々のよさを認め、子ども同士の関わりを深めている。
- 2 学習指導等の中で日々、学級における学習の約束を子どもと共有しながら指導にあたっている。
(教室掲示等も含めて)

- 【視点⑤】
- 【視点⑥】
- 【視点⑩】



小学校『めざす算数の授業の姿』 ～「学び合い、高め合いのある授業」をめざして～

流れ

◆◆児童生徒の姿◆◆

◆◆教師の姿◆◆

①めあての提示	○本時のめあてや課題をはっきりとつかみ、見通しをもって学習している。	●本時のめあてと課題を子どもたちに分かりやすく示している。 ★本時のねらいに沿った「めあて」の提示 ★考え方を引き出すための課題の工夫 ★課題提示の工夫 ★学習の見通しを児童と共有
②自力解決	○自分の課題にそって、学習活動に取り組んでいる。 〔 ・計算する ・式や絵、図、表で表す ・表やグラフで表す ・言葉で説明を書く 〕 ○既習の知識・技能を活用しながら、式、絵、図、表、グラフ、言葉で書いたり、それらを関連付けて考え、説明したりしている。	●本時の学習内容にかかわって予想される子どもの実態に応じた支援をしている。 ★机間指導における<u>個・全体</u>への支援 ●子どもの反応を見取る中で、集団解決につなげるための準備や支援をしている。 ★集団解決で<u>取り上げる考えの選定、取り上げる順番、誰の考え</u>を取り上げるのか等
(練り上げ・学び合い) ③集団解決	○自分の考えを聞き手を意識して、具体物や図、式を用いたり、根拠や理由を入れたりしながら、全体の場に出している。 ○ペアあるいはグループ、全体での話し合い活動等を通して、自分の考えを伝え合い、<u>よりよい考え</u>方を導き出している。	●子どもの考えを伝え合う目的や意図を具体的に持って、話し合い活動を行っている。 ●意図をもって、子どもに働きかけ、集団解決を組み立てている。 〔 ・比べる(共通点・違い) ・よりよい方法を見つける ・有効性や妥当性を検討する 〕 ●めあてとつながるまとめを行っている。
(適用題・練習問題) ④評価問題	○学んだこと(よりよい方法、新しい知識や技能)を使って問題解決している。 ★問題を解く、説明をする等 ○「学んだことを使うよさ」を感じている。	●ねらいに応じた適用題に取り組む時間を確保している。 ★定着度を見る。 ●一人ひとりの達成度に応じた支援をしている。
⑤振り返り	○キーワードを使いながら<u>学習した内容や課題に対しての学び</u>(自分・友達からの)について、振り返っている。	●子どもの達成度や成就感の評価をもとに、個別対応や次時への指導計画の修正を行う。(指導に生かす学習評価) ★視点を明確にして、振り返りの時間を確保

「算数大好き！プロジェクト」Ver.2のポイント、チェックリストも参考にしてください
☆☆すべての授業を45分間で完結するためのタイムマネジメント☆☆
◆導入(学習課題、めあての提示まで)の時間を短く！
◆自力解決や話し合い活動の時間を調整！

主体的・対話的で深い学びの実現に向けて

みんなで創ろう！ とっとりの学び



鳥取県の子どもたちが、さらに伸びていくための

とっとりの 授業改革 【10の視点】

知的好奇心 の喚起

① 魅力的な課題・教材 の提示

- ・自ら問いを見出し、調べてみたい、みんなで考えてみたい課題や教材を提示する
- ・学習への見通しを持たせる

② 体験的な学習の 充実

- ・これまで学んだこととのつながりを意識させる
- ・地域の人・もの・ことなど日常生活とのつながりを意識させる
- ・具体物や視聴覚教材を使用する
- ・実験や作業を取り入れる

活用する力を育てる 言語活動 と 学習評価

③ 資料の活用

- ・問題解決に必要な資料を使って調べたり、考えたりする学習を設定する
- ・考えの形成のために情報を精査させる

④ 思考の整理

- ・調べたことやわかったことをノートに書かせる
- ・問題の解き方や考え方をノートに書かせる

⑤ 説明・発表の機会の充実

- ・考え方や理由を筋道立てて説明する学習活動を設定する

⑥ 学び合う活動の充実

- ・ねらいをはっきりさせ、新しい考えを、みんなで生み出す活動を設定する
- ・考えを広げたり深めたりする活動を設定する
- ・意見交換や議論の場を設定する

指導と評価の
一体化

⑦ 学習評価の 推進

- ・一人一人の学習状況や実現状況を把握する
- ・個に応じた手立てや支援を行う

次につながる 振り返り

⑧ 学習を振り返 る活動の設定

- ・「振り返り」の時間を設定し、達成感・成就感を味わわせる
- ・次の学習の課題やポイントがつかめるよう工夫する

⑨ 家庭学習と連動し た学びの定着

- ・学校で学んだことが家庭での復習や予習および自主的な学習につながるような支援に努める

⑩ 落ち着いたのびのびと学べる環境づくり（学びの集団・人間関係づくり）



中部教育局マスコットキャラクター

学び合い、高め合いのある授業をめざして
いきましょう。

令和7年度 中部教育局